

2. 6. 4 研究分野：食料・環境政策学

構成員： 教授 武部 隆
大学院修士課程 1 名
専攻 4 回生 3 名

A. 研究活動（2009. 4～2010. 3）

A-1. 研究概要

a) 食料政策および農業・環境政策

世界と日本の食料問題ならびに農業・環境問題を対象に、経済学的また政策論的な観点から、問題解明のための諸方策の検討と考察を行う。すなわち、農業に固有の技術的・商品的特性と産業構造を踏まえて、農業が果たすべき食料の安定的供給と、国土・環境保全などの多面的機能の発揮のあり方を、理論的・実証的方法を用いて明らかにし、さらに、そこで得られた研究成果を教育に還元する。

b) 環境ガバナンスの研究

環境ガバナンスとは、持続可能な社会の達成に向け、多様な環境財を利用・保全・管理するための経済社会システムの構築を指している。当分野では、環境ガバナンスという視点を重視し、主として農林業に係わる領域を対象に、現実の具体的な食料・農林業・環境問題を、農林業と環境との関係において明らかにする。

c) 資源利用の経済評価

農地をはじめとする地域資源に関して、その利用・保全と管理の現状を、資源経済学、環境経済学、組織経済学、地理情報システム等の方法および手法により総合的に分析・評価し、また今後のあるべき方向について考察する。

d) 非営利団体の活動の分析

近年、福祉向上・社会教育充実・環境改善・人権擁護等のような社会的課題の解決に、非営利な団体の活動ならびにそれら非営利な団体のネットワーク的な活動が、有効に機能するのではないかという期待が高まりつつある。このようななか、非営利団体の活動ならびにそれら団体のネットワーク的な活動が、日本の農業および農村環境にもたらす影響について、理論的かつ実証的に考察を加える。

A-2. 研究業績（国内・国外含む）

a) 成果刊行

著 書

- ・ 武部 隆：環境ガバナンスとリスク分析．農村地域における資源の循環活用と管理（熊谷・北田・永木編著，農林統計出版）；199-213，2009
- ・ 武部 隆：環境ガバナンスと公益法人制度改革．農村地域における資源の循環活用と管理（熊谷・北田・永木編著，農林統計出版）；215-227，2009

原著論文（査読付）

- ・ Takebe, T. and M. Tomiyoshi : Satoyama Conservation and Public Intentions with Regard to Conservation Activities. The Natural Resource Economics Review, Kyoto University, No.15 ; 1-16, 2010

B. 教育活動（2009.4～2010.3）

B-1. 学内活動

a) 開講授業科目（担当教員）

- ・ 全学共通科目： 環境農学論（武部（分担））、世界の食料・農業・環境—持続可能社会に向けて—（武部（分担））
- ・ 学部： 調査研究方法実習ⅠⅡ（武部、吉野）、食料・環境政策学（武部）、食料・環境政策学演習ⅠⅡⅢ（武部、吉野）
- ・ 大学院： 食料・環境政策学ⅠⅡ（武部）、食料・環境政策学専攻演習ⅠⅡ（武部）

C. その他

- ・ 武部 隆：門真市個人情報保護審査会委員、豊かなむらづくり全国表彰事業近畿ブロックむらづくり表彰審査委員会委員、京都府農業会議専門員、特定非営利活動法人世界遺産ネットワーク監事